

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 兵庫県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ						
-	尼崎総合医療センター	2	西宮市	中央病院	20	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院日高医療センタ	38
-	西宮病院	3	芦屋市	芦屋病院	21	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院出石医療センタ	39
-	加古川医療センター	4	伊丹市	伊丹病院	22	公立豊岡病院組合	公立朝来医療センター	40
-	淡路医療センター	5	相生市	相生市民病院	23	公立八鹿病院組合	公立八鹿病院	41
-	ひょうごこころの医療センタ	6	赤穂市	赤穂市民病院	24	公立八鹿病院組合	公立村岡病院	42
-	丹波医療センター	7	西脇市	西脇病院	25	北播磨総合医療センター	北播磨総合医療センター	43
-	こども病院	8	宝塚市	市立病院	26			
-	がんセンター	9	高砂市	高砂市民病院	27			
-	はりま姫路総合医療センター	10	川西市	川西市立総合医療センター	28			
-	粒子線医療センター	11	三田市	三田市民病院	29			
-	災害医療センター	12	加西市	加西病院	30			
-	リハビリテーション中央病院	13	宍粟市	公立宍粟総合病院	31			
-	リハビリテーション西播磨病 院	14	加東市	加東市民病院	32			
-	県立西宮病院と市立西宮中央 病院との統合再編事業	15	たつの市	市民病院	33			
-	県立がんセンター建替整備事 業	16	神河町	公立神崎総合病院	34			
神戸市	中央市民病院	17	香美町	公立香住病院	35			
神戸市	西市民病院	18	新温泉町	浜坂病院	36			
明石市	市民病院	19	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院	37			

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 尼崎総合医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	78,395 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	48	指定病院の状況	救が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	714	88.6	84.3	78.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	8	40.5	56.9	53.2
感染症	8	69.9	70.6	49.1
計	730	87.9	83.8	78.3
平均在院日数(一般病床のみ)		9.6	9.5	9.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	37,801,522			
1 経常収益	37,793,730			
(1) 医業収益	33,568,478			
(うち修正医業収益)	33,172,381			
入院収益	23,495,918			
外来収益	9,078,602			
診療収入計	32,574,520			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	993,958			
(うち他会計負担金)	396,097			
(2) 医業外収益	4,225,252			
(うち国・都道府県補助金)	102,643			
(うち他会計補助・負担金)	2,712,053			
(うち長期前受金戻入)	1,072,465			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,792			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	39,339,614			
2 経常費用	39,109,940			
(1) 医業費用	37,201,373			
職員給与費	18,590,714	55.4	58.7	51.4
材料費	11,313,472	33.7	26.9	32.6
(うち薬品費)	5,280,168	15.7	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,838,411	17.4	11.7	13.9
減価償却費	2,019,733	6.0	8.5	7.4
経費	5,076,441	15.1	21.5	16.9
(うち委託料)	3,027,751	9.0	11.5	10.0
研究研修費	141,459			
資産減耗費	59,554			
(2) 医業外費用	1,908,567			
(うち支払利息)	165,293	0.5	0.9	0.8
(3) 特別損失	229,674			
経常損益	-1,316,210			
純損益	-1,538,092			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.6		96.5	97.6
医業収支比率	90.2		86.0	91.7
修正医業収支比率	89.2		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	8.2		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	88.7		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,847,224	3,108,150
資本勘定繰入	510,106	510,106
計	3,357,330	3,618,256

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 西宮病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,578 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	400	75.8	74.1	72.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	75.8	74.1	72.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	10.2	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,324,952			
1 経常収益	13,085,009			
(1) 医業収益	11,736,168			
(うち修正医業収益)	11,305,395			
入院収益	8,005,714			
外来収益	3,096,481			
診療収入計	11,102,195			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	633,973			
(うち他会計負担金)	430,773			
(2) 医業外収益	1,348,841			
(うち国・都道府県補助金)	29,965			
(うち他会計補助・負担金)	869,557			
(うち長期前受金戻入)	379,949			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	239,943			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,150,770			
2 経常費用	14,112,252			
(1) 医業費用	13,577,441			
職員給与費	7,583,011	64.6	58.7	55.7
材料費	3,228,578	27.5	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,690,579	14.4	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,453,825	12.4	11.7	12.7
減価償却費	611,627	5.2	8.5	7.9
経費	2,076,473	17.7	21.5	18.1
(うち委託料)	997,587	8.5	11.5	10.0
研究研修費	64,877			
資産減耗費	12,875			
(2) 医業外費用	534,811			
(うち支払利息)	14,863	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	38,518			
経常損益	-1,027,243			
純損益	-825,818			
累積欠損金	4,312,983			
経常収支比率	92.7		96.5	97.5
医業収支比率	86.4		86.0	90.0
修正医業収支比率	83.3		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	9.8		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	83.5		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,106,221	1,300,330
資本勘定繰入	284,685	284,685
計	1,390,906	1,585,015

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 加古川医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,477 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	345	71.7	62.8	52.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	-	15.4	31.4
計	353	70.1	61.7	52.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.4	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,713,213			
1 経常収益	12,710,573			
(1) 医業収益	10,525,993			
(うち修正医業収益)	10,161,238			
入院収益	6,367,135			
外来収益	3,565,767			
診療収入計	9,932,902			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	593,091			
(うち他会計負担金)	364,755			
(2) 医業外収益	2,184,580			
(うち国・都道府県補助金)	306,833			
(うち他会計補助・負担金)	1,151,188			
(うち長期前受金戻入)	662,536			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,640			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,903,192			
2 経常費用	13,849,352			
(1) 医業費用	13,076,933			
職員給与費	6,935,551	65.9	58.7	59.2
材料費	3,057,978	29.1	26.9	26.1
(うち薬品費)	1,662,860	15.8	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,325,452	12.6	11.7	11.1
減価償却費	1,000,517	9.5	8.5	8.5
経費	1,982,939	18.8	21.5	21.3
(うち委託料)	1,416,396	13.5	11.5	11.7
研究研修費	39,451			
資産減耗費	60,497			
(2) 医業外費用	772,419			
(うち支払利息)	195,585	1.9	0.9	1.0
(3) 特別損失	53,840			
損益	-1,138,779			
純損益	-1,189,979			
累積欠損金	7,170,874			
経常収支比率	91.8		96.5	95.9
医業収支比率	80.5		86.0	86.4
修正医業収支比率	77.7		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	11.9		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	80.8		85.4	86.4

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 資本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,334,359	1,515,943
資本勘定繰入	565,776	565,776
計	1,900,135	2,081,719

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 淡路医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	35,005 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救急が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	377	83.7	80.1	76.1
療養	-	-	-	-
結核	15	13.8	32.9	37.0
精神	45	54.7	55.6	46.3
感染症	4	24.2	14.1	20.4
計	441	77.9	75.4	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.3	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,885,878			
1 経常収益	15,885,878			
(1) 医業収益	13,692,729			
(うち修正医業収益)	13,306,933			
入院収益	9,718,222			
外来収益	3,413,974			
診療収入計	13,132,196			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	560,533			
(うち他会計負担金)	385,796			
(2) 医業外収益	2,193,149			
(うち国・都道府県補助金)	61,246			
(うち他会計補助・負担金)	1,384,835			
(うち長期前受金戻入)	640,402			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,371,912			
2 経常費用	16,340,135			
(1) 医業費用	15,449,744			
職員給与費	7,724,587	56.4	58.7	55.7
材料費	4,174,378	30.5	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,654,879	12.1	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,488,384	18.2	11.7	12.7
減価償却費	1,048,048	7.7	8.5	7.9
経費	2,419,716	17.7	21.5	18.1
(うち委託料)	1,382,455	10.1	11.5	10.0
研究研修費	42,275			
資産減耗費	40,740			
(2) 医業外費用	890,391			
(うち支払利息)	154,504	1.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	31,777			
経常損益	-454,257			
純損益	-486,034			
累積欠損金	1,829,749			
経常収支比率	97.2		96.5	97.5
医業収支比率	88.6		86.0	90.0
修正医業収支比率	86.1		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	12.9		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	11.1		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	86.4		85.4	88.1

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 資本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,656,894	1,770,631
資本勘定繰入	670,701	670,701
計	2,327,595	2,441,332

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)			都道府県名
			兵庫県
市町村・組合名			
病院名	ひょうごこころの医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,805 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	6	指定病院の状況	臨 災
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	462	36.0	32.8	25.4
感染症	-	-	-	-
計	462	36.0	32.8	25.4
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,218,561			
1 経常収益	4,218,110			
(1) 医業収益	2,400,268			
(うち修正医業収益)	2,045,856			
入院収益	1,664,647			
外来収益	365,791			
診療収入計	2,030,438			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	369,830			
(うち他会計負担金)	354,412			
(2) 医業外収益	1,817,842			
(うち国・都道府県補助金)	19,555			
(うち他会計補助・負担金)	1,522,745			
(うち長期前受金戻入)	246,426			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	451			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,420,287			
2 経常費用	4,399,488			
(1) 医業費用	4,247,242			
職員給与費	2,950,210	122.9	58.7	104.5
材料費	162,278	6.8	26.9	9.7
(うち薬品費)	70,170	2.9	14.8	6.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,560	1.3	11.7	1.6
減価償却費	389,822	16.2	8.5	12.8
経費	722,855	30.1	21.5	34.3
(うち委託料)	303,713	12.7	11.5	15.4
研究研修費	15,469			
資産減耗費	6,608			
(2) 医業外費用	152,246			
(うち支払利息)	54,807	2.3	0.9	2.2
(3) 特別損失	20,799			
損益	-181,378			
純損益	-201,726			
累積欠損金	12,906,352			
経常収支比率	95.9		96.5	98.6
医業収支比率	56.5		86.0	61.2
修正医業収支比率	48.2		83.2	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	44.5		11.5	34.5
他会計繰入金対医業収益比率	78.2		13.7	57.7
他会計繰入金対総収益比率	44.5		11.5	33.3
実質収益対経常費用比率	53.2		85.4	64.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,730,505	1,877,157
資本勘定繰入	352,520	352,520
計	2,083,025	2,229,677

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 丹波医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,679 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	316	86.4	80.5	67.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	2.5	57.7	44.3
計	320	85.3	80.2	67.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	13.6	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,269,995			
1 経常収益	10,258,717			
(1) 医業収益	8,429,753			
(うち修正医業収益)	8,097,798			
入院収益	5,588,549			
外来収益	2,147,450			
診療収入計	7,735,999			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	693,754			
(うち他会計負担金)	331,955			
(2) 医業外収益	1,828,964			
(うち国・都道府県補助金)	49,465			
(うち他会計補助・負担金)	786,825			
(うち長期前受金戻入)	839,639			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,278			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,280,616			
2 経常費用	11,144,433			
(1) 医業費用	10,549,918			
職員給与費	5,486,601	65.1	58.7	59.2
材料費	1,724,725	20.5	26.9	26.1
(うち薬品費)	824,152	9.8	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	877,509	10.4	11.7	11.1
減価償却費	1,119,364	13.3	8.5	8.5
経費	2,180,153	25.9	21.5	21.3
(うち委託料)	1,487,035	17.6	11.5	11.7
研究研修費	21,117			
資産減耗費	17,958			
(2) 医業外費用	594,515			
(うち支払利息)	53,177	0.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	136,183			
損益	-885,716			
純損益	-1,010,621			
累積欠損金	17,120,599			
経常収支比率	92.1		96.5	95.9
医業収支比率	79.9		86.0	86.4
修正医業収支比率	76.8		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	10.9		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	82.0		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 資本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	877,488	1,118,780
資本勘定繰入	944,940	944,940
計	1,822,428	2,063,720

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病 院 名					
こども病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	41,324 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救 地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一 般	290	83.6	78.2	76.5
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	290	83.6	78.2	76.5
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	11.5	11.1

設立団体の状況		
人 口(人)	5,465,002	
決 算 規 模(千円)	2,417,645,312	
標 準 財 政 規 模(千円)	1,121,332,872	
財 政 力 指 数	0.60301	
経 常 収 支 比 率(%)	97.3	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	14,573,620			
1 経 常 収 益	14,568,366			
(1) 医 業 収 益	11,951,107			
(うち修正医業収益)	11,554,254			
入 院 収 益	9,414,615			
外 来 収 益	2,014,651			
診 療 収 入 計	11,429,266			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	521,841			
(うち他会計負担金)	396,853			
(2) 医 業 外 収 益	2,617,259			
(うち国・都道府県補助金)	75,929			
(うち他会計補助・負担金)	1,948,180			
(うち長期前受金戻入)	523,085			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	5,254			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	14,666,751			
2 経 常 費 用	14,655,553			
(1) 医 業 費 用	14,061,761			
職 員 給 与 費	7,981,464	66.8	58.7	63.9
材 料 費	2,475,961	20.7	26.9	21.1
(うち薬品費)	224,640	1.9	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,178,204	18.2	11.7	10.2
減 価 償 却 費	846,364	7.1	8.5	9.3
経 費	2,694,273	22.5	21.5	28.2
(うち委託料)	1,108,074	9.3	11.5	14.0
研 究 研 修 費	54,582			
資 産 減 耗 費	9,117			
(2) 医 業 外 費 用	593,792			
(うち支払利息)	64,750	0.5	0.9	1.0
(3) 特 別 損 失	11,198			
損 益	-87,187			
純 損 益	-93,131			
累 積 欠 損 金	10,586,858			
経 常 収 支 比 率	99.4		96.5	93.2
医 業 収 支 比 率	85.0		86.0	81.2
修 正 医 業 収 支 比 率	82.2		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	19.6		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	16.1		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	83.4		85.4	80.9

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資 産 合 計	215,459,107
1 固 定 資 産	180,284,020
(1) 有 形 固 定 資 産	166,535,376
(2) 無 形 固 定 資 産	47,557
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	13,701,087
2 流 動 資 産	35,175,087
(1) 現 金 及 び 預 金	9,236,428
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	24,975,295
(3) 貸 倒 引 当 金()	74,927
(4) 貯 蔵 品	792,127
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	235,815,231
1 固 定 負 債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) そ の 他 の 企 業 債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	22,611,786
(6) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) そ の 他 の 企 業 債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	4,382,000
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	26,728,868
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	24,794,796
(1) 長 期 前 受 金	24,794,796
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額()	-
(3) 繰 延 運 営 権 対 価	-
(4) 繰 延 運 営 権 対 価 収 益 化 累 計 額()	-
(5) 運 営 権 者 更 新 投 資	-
(6) 運 営 権 者 更 新 投 資 収 益 化 累 計 額()	-
資 本 合 計	-20,356,124
1 資 本 金	22,151,970
2 剰 余 金	-42,597,869
(1) 資 本 剰 余 金	6,973,380
(2) 利 益 剰 余 金	-49,571,249
負 債 ・ 資 本 合 計	215,459,107
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備 考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,280,767	2,345,033
資本勘定繰入	446,661	446,661
計	2,727,428	2,791,694

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 がんセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,820 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	臨が		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	360	69.2	69.1	58.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	360	69.2	69.1	58.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.5	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,641,494			
1 経常収益	18,639,420			
(1) 医業収益	17,099,509			
(うち修正医業収益)	17,099,479			
入院収益	7,001,158			
外来収益	9,752,436			
診療収入計	16,753,594			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	345,915			
(うち他会計負担金)	30			
(2) 医業外収益	1,539,911			
(うち国・都道府県補助金)	51,633			
(うち他会計補助・負担金)	998,038			
(うち長期前受金戻入)	431,810			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,074			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,925,312			
2 経常費用	18,918,689			
(1) 医業費用	17,822,454			
職員給与費	5,939,248	34.7	58.7	59.2
材料費	8,375,289	49.0	26.9	26.1
(うち薬品費)	6,823,256	39.9	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,476,323	8.6	11.7	11.1
減価償却費	767,807	4.5	8.5	8.5
経費	2,630,274	15.4	21.5	21.3
(うち委託料)	1,374,259	8.0	11.5	11.7
研究研修費	98,284			
資産減耗費	11,552			
(2) 医業外費用	1,096,235			
(うち支払利息)	18,799	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	6,623			
損益	-279,269			
純損益	-283,818			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.5		96.5	95.9
医業収支比率	95.9		86.0	86.4
修正医業収支比率	95.9		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	5.4		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	5.8		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	5.4		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	93.2		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	842,371	998,068
資本勘定繰入	533,482	533,482
計	1,375,853	1,531,550

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
はりま姫路総合医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	70,008 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	720	81.7	65.3	65.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	16	49.7	47.6	-
感染症	-	-	-	-
計	736	81.0	64.9	65.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.8	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	31,107,531			
1 経常収益	31,103,140			
(1) 医業収益	27,119,593			
(うち修正医業収益)	26,744,568			
入院収益	20,813,612			
外来収益	5,477,111			
診療収入計	26,290,723			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	828,870			
(うち他会計負担金)	375,025			
(2) 医業外収益	3,983,547			
(うち国・都道府県補助金)	45,932			
(うち他会計補助・負担金)	1,649,122			
(うち長期前受金戻入)	2,027,955			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,391			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	33,557,840			
2 経常費用	33,511,145			
(1) 医業費用	31,751,188			
職員給与費	14,822,587	54.7	58.7	51.4
材料費	9,007,744	33.2	26.9	32.6
(うち薬品費)	2,748,657	10.1	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	6,232,952	23.0	11.7	13.9
減価償却費	2,838,884	10.5	8.5	7.4
経費	4,967,055	18.3	21.5	16.9
(うち委託料)	3,289,706	12.1	11.5	10.0
研究研修費	114,918			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,759,957			
(うち支払利息)	159,061	0.6	0.9	0.8
(3) 特別損失	46,695			
損益	-2,408,005			
純損益	-2,450,309			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.8		96.5	97.6
医業収支比率	85.4		86.0	91.7
修正医業収支比率	84.2		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	6.5		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	86.8		85.4	90.5

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,852,045	2,024,147
資本勘定繰入	792,085	792,085
計	2,644,130	2,816,232

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 粒子線医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	22,541 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	50	47.0	47.8	46.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	47.0	47.8	46.2
平均在院日数(一般病床のみ)		32.1	32.1	33.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,606,173			
1 経常収益	2,606,173			
(1) 医業収益	1,556,969			
(うち修正医業収益)	1,556,969			
入院収益	671,063			
外来収益	879,420			
診療収入計	1,550,483			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	6,486			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,049,204			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	495,299			
(うち長期前受金戻入)	540,331			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,943,424			
2 経常費用	3,943,424			
(1) 医業費用	3,515,932			
職員給与費	925,491	59.4	58.7	78.7
材料費	74,592	4.8	26.9	14.5
(うち薬品費)	12,817	0.8	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	61,475	3.9	11.7	6.1
減価償却費	906,589	58.2	8.5	11.8
経費	1,593,035	102.3	21.5	32.3
(うち委託料)	1,087,872	69.9	11.5	15.3
研究研修費	5,433			
資産減耗費	10,792			
(2) 医業外費用	427,492			
(うち支払利息)	202,264	13.0	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-1,337,251			
純損益	-1,337,251			
累積欠損金	10,462,135			
経常収支比率	66.1		96.5	96.4
医業収支比率	44.3		86.0	72.4
修正医業収支比率	44.3		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.0		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	31.8		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	19.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	53.5		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	492,879	495,299
資本勘定繰入	1,142,746	1,142,746
計	1,635,625	1,638,045

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 災害医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,313 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨 災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	30	72.0	77.4	76.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	72.0	77.4	76.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.4	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	885,218			
1 経常収益	885,218			
(1) 医業収益	375,479			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	375,479			
(うち他会計負担金)	375,479			
(2) 医業外収益	509,739			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	363,912			
(うち長期前受金戻入)	145,648			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	885,218			
2 経常費用	885,218			
(1) 医業費用	788,638			
職員給与費	45,550	12.1	58.7	89.5
材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
減価償却費	113,256	30.2	8.5	14.0
経費	612,713	163.2	21.5	46.3
(うち委託料)	611,993	163.0	11.5	22.2
研究研修費	-			
資産減耗費	17,119			
(2) 医業外費用	96,580			
(うち支払利息)	20,114	5.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.3
医業収支比率	47.6		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	83.5		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	196.9		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	83.5		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	16.5		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 資本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	735,260	739,391
資本勘定繰入	191,141	191,141
計	926,401	930,532

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)			都道府県名
			兵庫県
市町村・組合名			
病院名	リハビリテーション中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,570 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	13	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	520	49.6	46.0	43.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	520	49.6	46.0	43.3
平均在院日数(一般病床のみ)		70.5	70.5	70.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	682,095			
1 経常収益	682,095			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	682,095			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	328,631			
(うち長期前受金戻入)	348,508			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	682,095			
2 経常費用	682,095			
(1) 医業費用	628,265			
職員給与費	10,115	-	58.7	51.4
材料費	-	-	26.9	32.6
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	13.9
減価償却費	322,691	-	8.5	7.4
経費	288,681	-	21.5	16.9
(うち委託料)	288,681	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	6,778			
(2) 医業外費用	53,830			
(うち支払利息)	6,409	-	0.9	0.8
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.6
医業収支比率	-		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	48.2		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	48.2		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	51.8		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 資本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	325,239	328,631
資本勘定繰入	337,492	337,492
計	662,731	666,123

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名					
リハビリテーション西播磨病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	9,948 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	10	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	100	86.3	84.1	87.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	86.3	84.1	87.8
平均在院日数(一般病床のみ)		86.7	86.7	86.7

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	328,813			
1 経常収益	328,813			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	328,813			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	122,840			
(うち長期前受金戻入)	205,371			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	328,813			
2 経常費用	328,813			
(1) 医業費用	303,455			
職員給与費	5	-	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	180,034	-	8.5	10.3
経費	109,378	-	21.5	29.4
(うち委託料)	109,378	-	11.5	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	14,038			
(2) 医業外費用	25,358			
(うち支払利息)	3,181	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	95.4
医業収支比率	-		86.0	79.1
修正医業収支比率	-		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	37.4		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	37.4		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	62.6		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 資本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	121,154	122,840
資本勘定繰入	182,363	182,363
計	303,517	305,203

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名			
病院名	県立西宮病院と市立西宮中央病院との統合再編事業		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	-
材料費	-	-	26.9	-
(うち薬品費)	-	-	14.8	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	-
減価償却費	-	-	8.5	-
経費	-	-	21.5	-
(うち委託料)	-	-	11.5	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		96.5	119.5
医業収支比率	-		86.0	-
修正医業収支比率	-		83.2	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	99.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	-
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	98.8
実質収益対経常費用比率	-		85.4	0.2

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 資本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	34,263	34,263
計	34,263	34,263

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)			都道府県名
			兵庫県
市町村・組合名			
病院名	県立がんセンター建替整備事業		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,417,645,312	
標準財政規模(千円)	1,121,332,872	
財政力指数	0.60301	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	321.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	-
材料費	-	-	26.9	-
(うち薬品費)	-	-	14.8	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	-
減価償却費	-	-	8.5	-
経費	-	-	21.5	-
(うち委託料)	-	-	11.5	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		96.5	119.5
医業収支比率	-		86.0	-
修正医業収支比率	-		83.2	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	99.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	-
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	98.8
実質収益対経常費用比率	-		85.4	0.2

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	215,459,107
1 固定資産	180,284,020
(1) 有形固定資産	166,535,376
(2) 無形固定資産	47,557
(3) 投資その他の資産	13,701,087
2 流動資産	35,175,087
(1) 現金及び預金	9,236,428
(2) 未収金及び未収収益	24,975,295
(3) 貸倒引当金()	74,927
(4) 貯蔵品	792,127
3 繰延資産	-
負債合計	235,815,231
1 固定負債	166,665,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,699,033
(2) その他の企業債	4,354,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,611,786
(6) リース債務	-
2 流動負債	44,355,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,593,518
(2) その他の企業債	934,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,382,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,728,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,794,796
(1) 長期前受金	24,794,796
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-20,356,124
1 資本金	22,151,970
2 剰余金	-42,597,869
(1) 資本剰余金	6,973,380
(2) 利益剰余金	-49,571,249
負債・資本合計	215,459,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	20,356,124
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	761	761
計	761	761

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名 兵庫県	
市町村・組合名	神戸市		
病院名	中央市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,525,152	
決算規模(千円)	931,550,600	
標準財政規模(千円)	454,912,157	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	62.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	51.4
材料費	-	-	26.9	32.6
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	13.9
減価償却費	-	-	8.5	7.4
経費	-	-	21.5	16.9
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	0.8
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		96.5	97.6
医業収支比率	-		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	-		85.4	90.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	神戸市		
病院名	西市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,525,152	
決算規模(千円)	931,550,600	
標準財政規模(千円)	454,912,157	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	62.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	59.2
材料費	-	-	26.9	26.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	11.1
減価償却費	-	-	8.5	8.5
経費	-	-	21.5	21.3
(うち委託料)	-	-	11.5	11.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		96.5	95.9
医業収支比率	-		86.0	86.4
修正医業収支比率	-		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	-		85.4	86.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	明石市		
病院名	市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	303,601
決算規模(千円)	128,884,506
標準財政規模(千円)	67,912,872
財政力指数	0.72
経常収支比率(%)	92.5
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,679			
1 経常収益	4,679			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,679			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,679			
2 経常費用	4,679			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	59.2
材料費	-	-	26.9	26.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	11.1
減価償却費	-	-	8.5	8.5
経費	-	-	21.5	21.3
(うち委託料)	-	-	11.5	11.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	4,679			
(うち支払利息)	4,679	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	95.9
医業収支比率	-		86.0	86.4
修正医業収支比率	-		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	86.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		西宮市			
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,375 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	257	42.2	41.8	45.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	257	42.2	41.8	45.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	10.5	10.6

設立団体の状況	
人口(人)	485,587
決算規模(千円)	197,327,086
標準財政規模(千円)	103,054,608
財政力指数	0.93
経常収支比率(%)	98.3
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,360,006			
1 経常収益	5,352,121			
(1) 医業収益	4,562,768			
(うち修正医業収益)	4,301,251			
入院収益	2,481,550			
外来収益	1,597,939			
診療収入計	4,079,489			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	483,279			
(うち他会計負担金)	261,517			
(2) 医業外収益	789,353			
(うち国・都道府県補助金)	141,655			
(うち他会計補助・負担金)	591,846			
(うち長期前受金戻入)	27,706			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,885			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,335,560			
2 経常費用	6,307,836			
(1) 医業費用	6,081,925			
職員給与費	3,274,676	71.8	58.7	63.9
材料費	1,172,881	25.7	26.9	21.1
(うち薬品費)	751,817	16.5	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	416,361	9.1	11.7	10.2
減価償却費	301,448	6.6	8.5	9.3
経費	1,308,878	28.7	21.5	28.2
(うち委託料)	656,959	14.4	11.5	14.0
研究研修費	22,056			
資産減耗費	1,986			
(2) 医業外費用	225,911			
(うち支払利息)	896	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	27,724			
経常損益	-955,715			
純損益	-975,554			
累積欠損金	16,614,203			
経常収支比率	84.8		96.5	93.2
医業収支比率	75.0		86.0	81.2
修正医業収支比率	70.7		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	18.7		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	15.9		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	71.3		85.4	80.9

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,234,186
1 固定資産	3,845,486
(1) 有形固定資産	3,804,245
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	41,241
2 流動資産	1,388,700
(1) 現金及び預金	720,090
(2) 未収金及び未収収益	648,332
(3) 貸倒引当金()	387
(4) 貯蔵品	20,665
3 繰延資産	-
負債合計	6,005,242
1 固定負債	4,815,054
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	215,131
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	3,484,756
(5) 引当金	1,115,167
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,013,411
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	198,897
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	10,700
(5) 引当金	171,914
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	594,953
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	176,777
(1) 長期前受金	614,779
(2) 長期前受金収益化累計額()	438,002
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-771,056
1 資本金	14,957,435
2 剰余金	-15,728,491
(1) 資本剰余金	885,712
(2) 利益剰余金	-16,614,203
負債・資本合計	5,234,186
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	771,056
資本不足額(繰延収益控除後)()	594,279
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	853,184	853,363
資本勘定繰入	114,799	239,710
計	967,983	1,093,073

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	364.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		芦屋市			
病院名		芦屋病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,045 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	199	81.2	74.4	76.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	81.2	74.4	76.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	13.6	13.6

設立団体の状況	
人口(人)	93,922
決算規模(千円)	43,629,855
標準財政規模(千円)	24,906,517
財政力指数	1.05
経常収支比率(%)	94.6
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 7.7 48.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,565,827			
1 経常収益	5,565,687			
(1) 医業収益	5,044,402			
(うち修正医業収益)	4,759,165			
入院収益	3,073,424			
外来収益	1,326,767			
診療収入計	4,400,191			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	644,211			
(うち他会計負担金)	285,237			
(2) 医業外収益	521,285			
(うち国・都道府県補助金)	161,702			
(うち他会計補助・負担金)	276,028			
(うち長期前受金戻入)	13,960			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	140			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,033,268			
2 経常費用	6,006,939			
(1) 医業費用	5,732,520			
職員給与費	3,384,987	67.1	58.7	67.7
材料費	1,096,404	21.7	26.9	18.3
(うち薬品費)	699,650	13.9	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	358,038	7.1	11.7	9.1
減価償却費	420,945	8.3	8.5	10.3
経費	815,741	16.2	21.5	29.4
(うち委託料)	569,480	11.3	11.5	13.6
研究研修費	10,454			
資産減耗費	3,989			
(2) 医業外費用	274,419			
(うち支払利息)	79,137	1.6	0.9	1.1
(3) 特別損失	26,329			
損益	-441,252			
純損益	-467,441			
累積欠損金	12,051,314			
経常収支比率	92.7		96.5	95.4
医業収支比率	88.0		86.0	79.1
修正医業収支比率	83.0		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	10.1		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	83.3		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,866,098
1 固定資産	3,904,693
(1) 有形固定資産	3,854,887
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	49,806
2 流動資産	961,405
(1) 現金及び預金	266,523
(2) 未収金及び未収収益	705,119
(3) 貸倒引当金()	10,266
(4) 貯蔵品	29
3 繰延資産	-
負債合計	8,400,900
1 固定負債	7,232,835
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,024,595
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,278,600
(5) 引当金	929,640
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,092,285
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	196,996
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	279,800
(5) 引当金	195,062
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	396,454
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	75,780
(1) 長期前受金	146,979
(2) 長期前受金収益化累計額()	71,199
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-3,534,802
1 本金	8,501,712
2 剰余金	-12,036,514
(1) 資本剰余金	14,800
(2) 利益剰余金	-12,051,314
負債・資本合計	4,866,098
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	3,534,802
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,459,022
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	557,264	561,265
資本勘定繰入	223,168	239,620
計	780,432	800,885

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	238.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	伊丹市				
病院名	伊丹病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	29,069 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	414	73.8	69.5	68.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	414	73.8	69.5	68.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	10.0	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	198,138	
決算規模(千円)	87,478,802	
標準財政規模(千円)	45,607,487	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,000,832			
1 経常収益	14,000,832			
(1) 医業収益	12,875,763			
(うち修正医業収益)	12,562,139			
入院収益	8,320,129			
外来収益	3,954,442			
診療収入計	12,274,571			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	601,192			
(うち他会計負担金)	313,624			
(2) 医業外収益	1,125,069			
(うち国・都道府県補助金)	186,611			
(うち他会計補助・負担金)	518,454			
(うち長期前受金戻入)	279,240			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,760,120			
2 経常費用	14,760,120			
(1) 医業費用	14,068,278			
職員給与費	6,951,861	54.0	58.7	55.7
材料費	4,168,895	32.4	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,980,254	15.4	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,122,150	16.5	11.7	12.7
減価償却費	499,844	3.9	8.5	7.9
経費	2,402,299	18.7	21.5	18.1
(うち委託料)	1,207,631	9.4	11.5	10.0
研究研修費	43,882			
資産減耗費	1,497			
(2) 医業外費用	691,842			
(うち支払利息)	34,291	0.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-759,288			
純損失	-759,288			
累積欠損金	3,866,129			
経常収支比率	94.9		96.5	97.5
医業収支比率	91.5		86.0	90.0
修正医業収支比率	89.3		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	5.9		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	5.9		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	89.2		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	20,360,551
1 固定資産	15,418,400
(1) 有形固定資産	13,557,698
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,860,702
2 流動資産	4,942,151
(1) 現金及び預金	3,102,033
(2) 未収金及び未収収益	1,802,720
(3) 貸倒引当金()	6,130
(4) 貯蔵品	43,528
3 繰延資産	-
負債合計	15,904,838
1 固定負債	7,963,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,534,463
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,428,981
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,504,751
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	444,461
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	418,382
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,562,937
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,436,643
(1) 長期前受金	13,225,764
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,789,121
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,455,713
1 資本金	3,237,565
2 剰余金	1,218,148
(1) 資本剰余金	5,084,277
(2) 利益剰余金	-3,866,129
負債・資本合計	20,360,551
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	832,078	832,078
資本勘定繰入	719,544	719,633
計	1,551,622	1,551,711

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		相生市			
病院名		相生市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,424 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	55	40.4	41.8	42.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	40.4	41.8	42.6
平均在院日数(一般病床のみ)		23.0	26.0	25.0

設立団体の状況	
人口(人)	28,355
決算規模(千円)	14,343,769
標準財政規模(千円)	8,495,964
財政力指数	0.52
経常収支比率(%)	98.9
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 11.1 62.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	678,975			
1 経常収益	678,975			
(1) 医業収益	520,483			
(うち修正医業収益)	516,403			
入院収益	277,206			
外来収益	210,154			
診療収入計	487,360			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	33,123			
(うち他会計負担金)	4,080			
(2) 医業外収益	158,492			
(うち国・都道府県補助金)	750			
(うち他会計補助・負担金)	111,585			
(うち長期前受金戻入)	31,290			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	689,327			
2 経常費用	689,114			
(1) 医業費用	663,558			
職員給与費	312,789	60.1	58.7	78.7
材料費	138,382	26.6	26.9	14.5
(うち薬品費)	118,472	22.8	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,150	3.7	11.7	6.1
減価償却費	45,573	8.8	8.5	11.8
経費	165,813	31.9	21.5	32.3
(うち委託料)	69,192	13.3	11.5	15.3
研究研修費	573			
資産減耗費	428			
(2) 医業外費用	25,556			
(うち支払利息)	121	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	213			
経常損益	-10,139			
純損益	-10,352			
累積欠損金	546,959			
経常収支比率	98.5		96.5	96.4
医業収支比率	78.4		86.0	72.4
修正医業収支比率	77.8		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.0		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	22.2		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	17.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	81.7		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	418,894
1 固定資産	265,185
(1) 有形固定資産	265,139
(2) 無形固定資産	31
(3) 投資その他の資産	15
2 流動資産	153,709
(1) 現金及び預金	58,994
(2) 未収金及び未収収益	86,899
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,816
3 繰延資産	-
負債合計	260,636
1 固定負債	31,907
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,874
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33
(6) リース債務	-
2 流動負債	107,009
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,483
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,623
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	69,903
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	121,720
(1) 長期前受金	837,414
(2) 長期前受金収益化累計額()	715,694
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	158,258
1 本金	327,266
2 剰余金	-169,008
(1) 資本剰余金	377,951
(2) 利益剰余金	-546,959
負債・資本合計	418,894
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	109,909	115,665
資本勘定繰入	6,895	6,895
計	116,804	122,560

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	105.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		赤穂市			
病院名		赤穂市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,911 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	356	57.9	64.7	67.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	94.7	162.9	11.1
計	360	58.3	65.7	66.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	16.4	15.7

設立団体の状況		
人口(人)	45,892	
決算規模(千円)	22,020,386	
標準財政規模(千円)	13,294,665	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	60.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,233,103			
1 経常収益	8,214,111			
(1) 医業収益	7,289,837			
(うち修正医業収益)	7,206,080			
入院収益	4,447,822			
外来収益	2,448,870			
診療収入計	6,896,692			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	393,145			
(うち他会計負担金)	83,757			
(2) 医業外収益	924,274			
(うち国・都道府県補助金)	232,911			
(うち他会計補助・負担金)	626,982			
(うち長期前受金戻入)	23,984			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	18,992			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,987,777			
2 経常費用	8,944,752			
(1) 医業費用	8,425,205			
職員給与費	3,972,707	54.5	58.7	59.2
材料費	1,894,885	26.0	26.9	26.1
(うち薬品費)	981,269	13.5	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	844,860	11.6	11.7	11.1
減価償却費	674,260	9.2	8.5	8.5
経費	1,849,714	25.4	21.5	21.3
(うち委託料)	884,011	12.1	11.5	11.7
研究研修費	21,982			
資産減耗費	11,657			
(2) 医業外費用	519,547			
(うち支払利息)	70,998	1.0	0.9	1.0
(3) 特別損失	43,025			
損益	-730,641			
純損益	-754,674			
累積欠損金	6,802,239			
経常収支比率	91.8		96.5	95.9
医業収支比率	86.5		86.0	86.4
修正医業収支比率	85.5		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	8.6		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	83.9		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	13,123,569
1 固定資産	10,913,436
(1) 有形固定資産	10,632,692
(2) 無形固定資産	2,160
(3) 投資その他の資産	278,584
2 流動資産	2,210,133
(1) 現金及び預金	1,009,871
(2) 未収金及び未収収益	1,168,882
(3) 貸倒引当金()	6,569
(4) 貯蔵品	35,977
3 繰延資産	-
負債合計	10,335,827
1 固定負債	6,859,187
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,191,095
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	400,000
(5) 引当金	1,268,092
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,225,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,178,193
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	270,356
(6) リース債務	13,680
(7) 一時借入金	700,000
(8) 未払金及び未払費用	1,002,793
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	251,419
(1) 長期前受金	663,000
(2) 長期前受金収益化累計額()	411,581
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,787,742
1 本金	9,562,362
2 剰余金	-6,774,620
(1) 資本剰余金	27,619
(2) 利益剰余金	-6,802,239
負債・資本合計	13,123,569
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	492,961	710,739
資本勘定繰入	669,778	659,778
計	1,162,739	1,370,517

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	93.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		西脇市			
病院名		西脇病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,674 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	320	84.2	80.5	83.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	84.2	80.5	83.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	15.2	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	38,673	
決算規模(千円)	21,885,729	
標準財政規模(千円)	11,854,934	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,698,930			
1 経常収益	8,687,363			
(1) 医業収益	7,278,720			
(うち修正医業収益)	7,205,850			
入院収益	5,205,850			
外来収益	1,834,890			
診療収入計	7,040,740			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	237,980			
(うち他会計負担金)	72,870			
(2) 医業外収益	1,408,643			
(うち国・都道府県補助金)	206,190			
(うち他会計補助・負担金)	770,053			
(うち長期前受金戻入)	369,771			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,567			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,854,796			
2 経常費用	8,847,565			
(1) 医業費用	8,668,027			
職員給与費	4,407,682	60.6	58.7	59.2
材料費	1,811,622	24.9	26.9	26.1
(うち薬品費)	959,295	13.2	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	852,327	11.7	11.7	11.1
減価償却費	634,534	8.7	8.5	8.5
経費	1,782,392	24.5	21.5	21.3
(うち委託料)	957,899	13.2	11.5	11.7
研究研修費	30,160			
資産減耗費	1,637			
(2) 医業外費用	179,538			
(うち支払利息)	127,475	1.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	7,231			
経常損益	-160,202			
純損益	-155,866			
累積欠損金	2,118,691			
経常収支比率	98.2		96.5	95.9
医業収支比率	84.0		86.0	86.4
修正医業収支比率	83.1		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	9.7		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	88.7		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,842,742
1 固定資産	7,857,740
(1) 有形固定資産	7,536,794
(2) 無形固定資産	2,250
(3) 投資その他の資産	318,696
2 流動資産	2,985,002
(1) 現金及び預金	1,647,159
(2) 未収金及び未収収益	1,275,478
(3) 貸倒引当金()	2,347
(4) 貯蔵品	63,992
3 繰延資産	-
負債合計	10,670,174
1 固定負債	8,954,154
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,035,541
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,918,613
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,419,477
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	634,756
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	237,243
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	434,200
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	296,543
(1) 長期前受金	5,011,331
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,714,788
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	172,568
1 本金	1,163,767
2 剰余金	-991,199
(1) 資本剰余金	1,127,492
(2) 利益剰余金	-2,118,691
負債・資本合計	10,842,742
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	642,923	842,923
資本勘定繰入	357,077	357,077
計	1,000,000	1,200,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	宝塚市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,903 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	436	62.6	58.6	60.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	436	62.6	58.6	60.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.0	9.3	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	226,432	
決算規模(千円)	91,631,804	
標準財政規模(千円)	47,712,448	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	1.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,925,537			
1 経常収益	13,118,916			
(1) 医業収益	11,818,323			
(うち修正医業収益)	11,326,292			
入院収益	6,913,647			
外来収益	4,246,577			
診療収入計	11,160,224			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	658,099			
(うち他会計負担金)	492,031			
(2) 医業外収益	1,300,593			
(うち国・都道府県補助金)	205,474			
(うち他会計補助・負担金)	387,820			
(うち長期前受金戻入)	52,277			
(うち資本費繰入収益)	526,446			
(3) 特別利益	806,621			
(うち他会計繰入金)	800,000			
総費用	13,539,917			
2 経常費用	13,535,260			
(1) 医業費用	12,927,517			
職員給与費	6,681,998	56.5	58.7	55.7
材料費	3,116,565	26.4	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,854,682	15.7	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,261,883	10.7	11.7	12.7
減価償却費	863,364	7.3	8.5	7.9
経費	2,216,902	18.8	21.5	18.1
(うち委託料)	1,222,277	10.3	11.5	10.0
研究研修費	33,129			
資産減耗費	15,559			
(2) 医業外費用	607,743			
(うち支払利息)	50,085	0.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	4,657			
経常損益	-416,344			
純損益	385,620			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.9		96.5	97.5
医業収支比率	91.4		86.0	90.0
修正医業収支比率	87.6		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	12.1		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	90.4		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	14,452,331
1 固定資産	11,472,500
(1) 有形固定資産	10,973,999
(2) 無形固定資産	1,487
(3) 投資その他の資産	497,014
2 流動資産	2,979,831
(1) 現金及び預金	275,343
(2) 未収金及び未収収益	2,569,641
(3) 貸倒引当金()	979
(4) 貯蔵品	132,000
3 繰延資産	-
負債合計	9,299,003
1 固定負債	6,169,329
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,681,354
(2) その他の企業債	21,987
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,150,000
(5) 引当金	309,784
(6) リース債務	6,204
2 流動負債	2,843,069
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,028,275
(2) その他の企業債	1,975
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	440,837
(6) リース債務	6,096
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,244,635
(9) 前受金及び前受収益	37,048
3 繰延収益	286,605
(1) 長期前受金	1,111,696
(2) 長期前受金収益化累計額()	825,091
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,153,328
1 本金	2,816,580
2 剰余金	2,336,748
(1) 資本剰余金	630,632
(2) 利益剰余金	1,706,116
負債・資本合計	14,452,331
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	875,673	1,679,851
資本勘定繰入	564,268	588,419
計	1,439,941	2,268,270

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	90,702	0.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		高砂市			
病院名		高砂市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,705 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	199	60.9	65.0	61.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	60.9	65.0	61.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	17.6	17.7

設立団体の状況		
人口(人)	87,722	
決算規模(千円)	43,558,377	
標準財政規模(千円)	22,103,401	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.2
	将来負担比率(%)	51.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,689,262			
1 経常収益	4,361,702			
(1) 医業収益	3,764,614			
(うち修正医業収益)	3,584,614			
入院収益	2,051,725			
外来収益	1,386,762			
診療収入計	3,438,487			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	326,127			
(うち他会計負担金)	180,000			
(2) 医業外収益	597,088			
(うち国・都道府県補助金)	211,430			
(うち他会計補助・負担金)	150,236			
(うち長期前受金戻入)	217,293			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	327,560			
(うち他会計繰入金)	325,196			
総費用	4,783,610			
2 経常費用	4,783,610			
(1) 医業費用	4,603,799			
職員給与費	2,773,710	73.7	58.7	67.7
材料費	533,383	14.2	26.9	18.3
(うち薬品費)	204,802	5.4	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	295,293	7.8	11.7	9.1
減価償却費	311,371	8.3	8.5	10.3
経費	970,800	25.8	21.5	29.4
(うち委託料)	523,508	13.9	11.5	13.6
研究研修費	12,588			
資産減耗費	1,947			
(2) 医業外費用	179,811			
(うち支払利息)	4,421	0.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-421,908			
純損益	-94,348			
累積欠損金	7,638,054			
経常収支比率	91.2		96.5	95.4
医業収支比率	81.8		86.0	79.1
修正医業収支比率	77.9		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	14.0		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	84.3		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,945,387
1 固定資産	5,120,703
(1) 有形固定資産	5,029,102
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	91,601
2 流動資産	1,824,684
(1) 現金及び預金	1,242,542
(2) 未収金及び未収収益	579,507
(3) 貸倒引当金()	5,200
(4) 貯蔵品	7,835
3 繰延資産	-
負債合計	3,923,483
1 固定負債	2,072,490
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	490,999
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,433,186
(6) リース債務	148,305
2 流動負債	862,697
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,739
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	197,267
(6) リース債務	60,865
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	292,933
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	988,296
(1) 長期前受金	3,266,795
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,278,499
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,021,904
1 本金	10,659,958
2 剰余金	-7,638,054
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-7,638,054
負債・資本合計	6,945,387
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	330,236	655,432
資本勘定繰入	97,996	97,996
計	428,232	753,428

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	202.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	川西市				
病院名	川西市立総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,619 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	405	92.5	64.2	48.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	405	92.5	64.2	48.3
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	152,321	
決算規模(千円)	61,585,517	
標準財政規模(千円)	33,116,693	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	100.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	73.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,449,435			
1 経常収益	1,449,084			
(1) 医業収益	166,358			
(うち修正医業収益)	16,358			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	166,358			
(うち他会計負担金)	150,000			
(2) 医業外収益	1,282,726			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	359,603			
(うち長期前受金戻入)	436,239			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	351			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,914,333			
2 経常費用	1,873,903			
(1) 医業費用	1,688,573			
職員給与費	-	-	58.7	55.7
材料費	-	-	26.9	28.9
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	12.7
減価償却費	1,342,847	807.2	8.5	7.9
経費	345,261	207.5	21.5	18.1
(うち委託料)	39,489	23.7	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	465			
(2) 医業外費用	185,330			
(うち支払利息)	97,337	58.5	0.9	0.9
(3) 特別損失	40,430			
損益	-424,819			
純損益	-464,898			
累積欠損金	5,081,272			
経常収支比率	77.3		96.5	97.5
医業収支比率	9.9		86.0	90.0
修正医業収支比率	1.0		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.2		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	306.3		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	35.2		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	50.1		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	19,897,814
1 固定資産	19,684,851
(1) 有形固定資産	19,213,027
(2) 無形固定資産	439,496
(3) 投資その他の資産	32,328
2 流動資産	212,963
(1) 現金及び預金	212,963
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	22,764,660
1 固定負債	19,671,175
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,671,175
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,071,230
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	944,481
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	125,745
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,022,255
(1) 長期前受金	2,588,916
(2) 長期前受金収益化累計額()	566,661
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,866,846
1 資本金	110,184
2 剰余金	-2,977,030
(1) 資本剰余金	2,104,242
(2) 利益剰余金	-5,081,272
負債・資本合計	19,897,814
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,866,846
資本不足額(繰延収益控除後)()	844,591
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	425,512	509,603
資本勘定繰入	482,242	513,982
計	907,754	1,023,585

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	127,906	80.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3054.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	三田市				
病院名	三田市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,928 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	300	66.5	68.4	71.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	66.5	68.4	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.3	9.3	9.4

設立団体の状況		
人口(人)	109,238	
決算規模(千円)	41,450,132	
標準財政規模(千円)	23,684,394	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,757,339			
1 経常収益	8,739,215			
(1) 医業収益	7,739,408			
(うち修正医業収益)	7,354,720			
入院収益	5,177,857			
外来収益	2,037,538			
診療収入計	7,215,395			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	524,013			
(うち他会計負担金)	384,688			
(2) 医業外収益	999,807			
(うち国・都道府県補助金)	194,193			
(うち他会計補助・負担金)	529,955			
(うち長期前受金戻入)	186,097			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	18,124			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,464,065			
2 経常費用	9,244,207			
(1) 医業費用	8,849,428			
職員給与費	4,737,283	61.2	58.7	59.2
材料費	1,963,370	25.4	26.9	26.1
(うち薬品費)	759,095	9.8	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,197,338	15.5	11.7	11.1
減価償却費	441,436	5.7	8.5	8.5
経費	1,676,317	21.7	21.5	21.3
(うち委託料)	872,448	11.3	11.5	11.7
研究研修費	21,467			
資産減耗費	9,555			
(2) 医業外費用	394,779			
(うち支払利息)	54,063	0.7	0.9	1.0
(3) 特別損失	219,858			
損益	-504,992			
純損益	-706,726			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.5		96.5	95.9
医業収支比率	87.5		86.0	86.4
修正医業収支比率	83.1		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.8		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	10.4		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	84.6		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	11,609,184
1 固定資産	9,148,515
(1) 有形固定資産	8,826,617
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	321,898
2 流動資産	2,460,669
(1) 現金及び預金	1,182,049
(2) 未収金及び未収収益	1,186,141
(3) 貸倒引当金()	2,587
(4) 貯蔵品	78,925
3 繰延資産	-
負債合計	7,648,178
1 固定負債	833,950
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	817,250
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	16,700
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,957,378
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	970,624
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	302,564
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	601,478
(9) 前受金及び前受収益	11,945
3 繰延収益	4,856,850
(1) 長期前受金	14,159,444
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,302,594
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,961,006
1 資本金	793,700
2 剰余金	3,167,306
(1) 資本剰余金	2,854,098
(2) 利益剰余金	313,208
負債・資本合計	11,609,184
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	794,679	914,643
資本勘定繰入	783,140	783,140
計	1,577,819	1,697,783

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	加西市				
病院名	加西病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,166 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救 臨 感 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	193	77.6	85.1	92.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	14.3	18.2
計	199	75.2	83.0	90.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	14.6	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	42,700	
決算規模(千円)	26,999,761	
標準財政規模(千円)	12,162,168	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,481,004			
1 経常収益	4,479,804			
(1) 医業収益	3,871,061			
(うち修正医業収益)	3,655,303			
入院収益	2,434,338			
外来収益	1,047,660			
診療収入計	3,481,998			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	389,063			
(うち他会計負担金)	215,758			
(2) 医業外収益	608,743			
(うち国・都道府県補助金)	193,227			
(うち他会計補助・負担金)	361,719			
(うち長期前受金戻入)	19,287			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,200			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,741,667			
2 経常費用	4,726,915			
(1) 医業費用	4,541,725			
職員給与費	2,565,403	66.3	58.7	67.7
材料費	649,160	16.8	26.9	18.3
(うち薬品費)	283,928	7.3	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	325,934	8.4	11.7	9.1
減価償却費	246,383	6.4	8.5	10.3
経費	1,061,091	27.4	21.5	29.4
(うち委託料)	487,660	12.6	11.5	13.6
研究研修費	12,725			
資産減耗費	6,963			
(2) 医業外費用	185,190			
(うち支払利息)	24,620	0.6	0.9	1.1
(3) 特別損失	14,752			
損益	-247,111			
純損益	-260,663			
累積欠損金	4,895,200			
経常収支比率	94.8		96.5	95.4
医業収支比率	85.2		86.0	79.1
修正医業収支比率	80.5		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	12.9		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	14.9		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	12.9		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	82.6		85.4	79.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,128,987
1 固定資産	2,653,045
(1) 有形固定資産	2,595,674
(2) 無形固定資産	59
(3) 投資その他の資産	57,312
2 流動資産	2,475,942
(1) 現金及び預金	1,864,133
(2) 未収金及び未収収益	606,164
(3) 貸倒引当金()	5,118
(4) 貯蔵品	10,275
3 繰延資産	-
負債合計	3,447,101
1 固定負債	2,548,270
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,574,590
(2) その他の企業債	221,504
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	747,040
(6) リース債務	5,136
2 流動負債	757,036
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	216,067
(2) その他の企業債	19,896
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	192,730
(6) リース債務	1,751
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	306,161
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	141,795
(1) 長期前受金	303,404
(2) 長期前受金収益化累計額()	161,609
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,681,886
1 本金	6,556,096
2 剰余金	-4,874,210
(1) 資本剰余金	19,877
(2) 利益剰余金	-4,894,087
負債・資本合計	5,128,987
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	577,477	577,477
資本勘定繰入	172,523	172,523
計	750,000	750,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	126.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	宍粟市		
病院名	公立宍粟総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	14,078 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	12	指定病院の状況	救臨へ輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	199	62.5	55.0	56.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	62.5	55.0	56.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	14.3	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	34,819	
決算規模(千円)	23,760,597	
標準財政規模(千円)	14,735,912	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	94.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	54.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,113,661			
1 経常収益	4,113,661			
(1) 医業収益	3,584,803			
(うち修正医業収益)	3,484,332			
入院収益	2,159,187			
外来収益	1,228,434			
診療収入計	3,387,621			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	197,182			
(うち他会計負担金)	100,471			
(2) 医業外収益	528,858			
(うち国・都道府県補助金)	160,555			
(うち他会計補助・負担金)	192,541			
(うち長期前受金戻入)	132,154			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,128,308			
2 経常費用	4,128,308			
(1) 医業費用	3,972,970			
職員給与費	2,296,011	64.0	58.7	67.7
材料費	668,123	18.6	26.9	18.3
(うち薬品費)	254,249	7.1	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	369,466	10.3	11.7	9.1
減価償却費	218,302	6.1	8.5	10.3
経費	779,514	21.7	21.5	29.4
(うち委託料)	294,662	8.2	11.5	13.6
研究研修費	9,755			
資産減耗費	1,265			
(2) 医業外費用	155,338			
(うち支払利息)	23,357	0.7	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-14,647			
純損益	-14,647			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.6		96.5	95.4
医業収支比率	90.2		86.0	79.1
修正医業収支比率	87.7		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.2		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	7.1		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	92.5		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,336,004
1 固定資産	3,495,370
(1) 有形固定資産	3,242,072
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	253,298
2 流動資産	2,840,634
(1) 現金及び預金	2,244,191
(2) 未収金及び未収収益	585,530
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	10,913
3 繰延資産	-
負債合計	2,996,525
1 固定負債	1,506,030
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,506,030
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	934,605
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	338,983
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	147,954
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	422,007
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	555,890
(1) 長期前受金	1,133,604
(2) 長期前受金収益化累計額()	577,714
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,339,479
1 資本金	842,769
2 剰余金	2,496,710
(1) 資本剰余金	20,757
(2) 利益剰余金	2,475,953
負債・資本合計	6,336,004
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	287,310	293,012
資本勘定繰入	225,737	225,737
計	513,047	518,749

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		加東市			
病院名		加東市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,954 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	16	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	139	63.6	52.7	65.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	139	63.6	52.7	65.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.8	18.5	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	40,645	
決算規模(千円)	25,396,562	
標準財政規模(千円)	12,730,390	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,513,420			
1 経常収益	2,412,461			
(1) 医業収益	1,777,926			
(うち修正医業収益)	1,611,448			
入院収益	1,144,227			
外来収益	383,008			
診療収入計	1,527,235			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	250,691			
(うち他会計負担金)	166,478			
(2) 医業外収益	634,535			
(うち国・都道府県補助金)	8,702			
(うち他会計補助・負担金)	215,798			
(うち長期前受金戻入)	2,704			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	100,959			
(うち他会計繰入金)	100,000			
総費用	2,603,905			
2 経常費用	2,603,170			
(1) 医業費用	2,111,978			
職員給与費	1,309,642	73.7	58.7	67.7
材料費	241,100	13.6	26.9	18.3
(うち薬品費)	119,018	6.7	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	101,961	5.7	11.7	9.1
減価償却費	160,542	9.0	8.5	10.3
経費	390,333	22.0	21.5	29.4
(うち委託料)	242,294	13.6	11.5	13.6
研究研修費	3,175			
資産減耗費	7,186			
(2) 医業外費用	491,192			
(うち支払利息)	4,263	0.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	735			
経常損益	-190,709			
純損益	-90,485			
累積欠損金	2,290,293			
経常収支比率	92.7		96.5	95.4
医業収支比率	84.2		86.0	79.1
修正医業収支比率	76.3		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	15.8		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	21.5		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	19.2		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	78.0		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,643,213
1 固定資産	1,728,877
(1) 有形固定資産	1,728,877
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	914,336
(1) 現金及び預金	583,642
(2) 未収金及び未収収益	313,063
(3) 貸倒引当金()	183
(4) 貯蔵品	17,664
3 繰延資産	-
負債合計	1,026,813
1 固定負債	558,892
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	264,683
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	85,735
(5) 引当金	-
(6) リース債務	208,474
2 流動負債	438,219
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	80,203
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	42,861
(5) 引当金	124,640
(6) リース債務	85,478
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	99,325
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	29,702
(1) 長期前受金	61,223
(2) 長期前受金収益化累計額()	31,521
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,616,400
1 本金	3,886,911
2 剰余金	-2,270,511
(1) 資本剰余金	17,772
(2) 利益剰余金	-2,288,283
負債・資本合計	2,643,213
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	367,976	482,276
資本勘定繰入	96,323	99,313
計	464,299	581,589

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	128.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	たつの市		
病院名	市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	74,316	
決算規模(千円)	37,061,165	
標準財政規模(千円)	21,933,519	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,896			
1 経常収益	6,896			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,896			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,896			
2 経常費用	6,896			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	-	-	8.5	10.3
経費	-	-	21.5	29.4
(うち委託料)	-	-	11.5	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,896			
(うち支払利息)	6,896	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	95.4
医業収支比率	-		86.0	79.1
修正医業収支比率	-		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	79.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		神戸市			
病院名		公立神崎総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	15,998 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	20	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	140	73.6	74.8	73.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	73.6	74.8	73.8
平均在院日数(一般病床のみ)		22.8	23.6	23.1

設立団体の状況		
人口(人)	10,616	
決算規模(千円)	8,830,253	
標準財政規模(千円)	5,436,038	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.9
	将来負担比率(%)	51.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,227,301			
1 経常収益	3,196,025			
(1) 医業収益	2,905,393			
(うち修正医業収益)	2,688,640			
入院収益	1,596,481			
外来収益	906,348			
診療収入計	2,502,829			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	402,564			
(うち他会計負担金)	216,753			
(2) 医業外収益	290,632			
(うち国・都道府県補助金)	56,546			
(うち他会計補助・負担金)	206,093			
(うち長期前受金戻入)	2,879			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	31,276			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,397,543			
2 経常費用	3,369,120			
(1) 医業費用	3,241,011			
職員給与費	2,120,286	73.0	58.7	67.7
材料費	342,961	11.8	26.9	18.3
(うち薬品費)	85,893	3.0	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	228,088	7.9	11.7	9.1
減価償却費	290,692	10.0	8.5	10.3
経費	473,871	16.3	21.5	29.4
(うち委託料)	188,389	6.5	11.5	13.6
研究研修費	8,205			
資産減耗費	4,996			
(2) 医業外費用	128,109			
(うち支払利息)	23,936	0.8	0.9	1.1
(3) 特別損失	28,423			
経常損益	-173,095			
純損益	-170,242			
累積欠損金	952,368			
経常収支比率	94.9		96.5	95.4
医業収支比率	89.6		86.0	79.1
修正医業収支比率	83.0		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	13.1		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	82.3		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,291,421
1 固定資産	4,563,246
(1) 有形固定資産	4,404,550
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	158,696
2 流動資産	1,728,175
(1) 現金及び預金	1,289,421
(2) 未収金及び未収収益	410,150
(3) 貸倒引当金()	2,192
(4) 貯蔵品	30,796
3 繰延資産	-
負債合計	3,536,470
1 固定負債	3,022,469
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,803,571
(2) その他の企業債	218,898
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	497,391
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	144,462
(2) その他の企業債	31,103
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	123,368
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	176,776
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,610
(1) 長期前受金	41,926
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,316
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,754,951
1 本金	3,707,319
2 剰余金	-952,368
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-952,368
負債・資本合計	6,291,421
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	681,480	422,846
資本勘定繰入	77,154	101,554
計	758,634	524,400

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		香美町			
病院名		公立香住病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,138 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	50	61.5	62.2	66.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	61.5	62.2	66.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	20.7	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	16,064	
決算規模(千円)	15,304,954	
標準財政規模(千円)	8,235,103	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	24.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,366,185			
1 経常収益	1,366,096			
(1) 医業収益	900,000			
(うち修正医業収益)	849,487			
入院収益	341,212			
外来収益	457,643			
診療収入計	798,855			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	101,145			
(うち他会計負担金)	50,513			
(2) 医業外収益	466,096			
(うち国・都道府県補助金)	3,894			
(うち他会計補助・負担金)	238,668			
(うち長期前受金戻入)	1,089			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	89			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,407,371			
2 経常費用	1,404,871			
(1) 医業費用	1,104,707			
職員給与費	708,882	78.8	58.7	78.7
材料費	126,291	14.0	26.9	14.5
(うち薬品費)	48,056	5.3	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	77,130	8.6	11.7	6.1
減価償却費	71,597	8.0	8.5	11.8
経費	181,670	20.2	21.5	32.3
(うち委託料)	109,712	12.2	11.5	15.3
研究研修費	1,627			
資産減耗費	14,640			
(2) 医業外費用	300,164			
(うち支払利息)	7,043	0.8	0.9	1.1
(3) 特別損失	2,500			
損益	-38,775			
純損益	-41,186			
累積欠損金	3,043,701			
経常収支比率	97.2		96.5	96.4
医業収支比率	81.5		86.0	72.4
修正医業収支比率	76.9		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.2		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	32.1		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	21.2		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	76.7		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,675,619
1 固定資産	2,343,414
(1) 有形固定資産	2,190,341
(2) 無形固定資産	62
(3) 投資その他の資産	153,011
2 流動資産	332,205
(1) 現金及び預金	162,198
(2) 未収金及び未収収益	163,755
(3) 貸倒引当金()	125
(4) 貯蔵品	6,074
3 繰延資産	-
負債合計	1,689,423
1 固定負債	1,256,538
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,256,538
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	410,623
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	97,517
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,831
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	130,601
(9) 前受金及び前受収益	15,797
3 繰延収益	22,262
(1) 長期前受金	38,263
(2) 長期前受金収益化累計額()	16,001
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	986,196
1 資本金	4,010,697
2 剰余金	-3,024,501
(1) 資本剰余金	19,200
(2) 利益剰余金	-3,043,701
負債・資本合計	2,675,619
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	194,366	289,181
資本勘定繰入	57,194	57,194
計	251,560	346,375

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	338.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	新温泉町				
病院名	浜坂病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,403 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	49	73.6	66.7	61.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	73.6	66.7	61.2
平均在院日数(一般病床のみ)		21.2	18.1	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	13,318	
決算規模(千円)	13,365,991	
標準財政規模(千円)	6,333,388	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	22.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,392,172			
1 経常収益	1,221,830			
(1) 医業収益	639,746			
(うち修正医業収益)	596,320			
入院収益	375,630			
外来収益	168,444			
診療収入計	544,074			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	95,672			
(うち他会計負担金)	43,426			
(2) 医業外収益	582,084			
(うち国・都道府県補助金)	24,099			
(うち他会計補助・負担金)	176,320			
(うち長期前受金戻入)	1,030			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	170,342			
(うち他会計繰入金)	143,000			
総費用	1,411,479			
2 経常費用	1,407,622			
(1) 医業費用	924,865			
職員給与費	577,635	90.3	58.7	89.5
材料費	68,112	10.6	26.9	13.4
(うち薬品費)	47,404	7.4	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,708	3.2	11.7	5.5
減価償却費	70,465	11.0	8.5	14.0
経費	205,064	32.1	21.5	46.3
(うち委託料)	69,774	10.9	11.5	22.2
研究研修費	2,266			
資産減耗費	1,323			
(2) 医業外費用	482,757			
(うち支払利息)	797	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	3,857			
経常損益	-185,792			
純損益	-19,307			
累積欠損金	3,905,398			
経常収支比率	86.8		96.5	97.3
医業収支比率	69.2		86.0	60.9
修正医業収支比率	64.5		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	34.3		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	26.1		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	71.2		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,652,559
1 固定資産	984,451
(1) 有形固定資産	974,732
(2) 無形固定資産	1,176
(3) 投資その他の資産	8,543
2 流動資産	668,108
(1) 現金及び預金	494,341
(2) 未収金及び未収収益	166,134
(3) 貸倒引当金()	298
(4) 貯蔵品	7,931
3 繰延資産	-
負債合計	1,538,130
1 固定負債	1,201,798
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	317,822
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	486,380
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	397,596
(6) リース債務	-
2 流動負債	318,371
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	90,312
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	104,460
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,147
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	55,523
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,961
(1) 長期前受金	150,771
(2) 長期前受金収益化累計額()	132,810
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	114,429
1 資本金	3,933,686
2 剰余金	-3,819,257
(1) 資本剰余金	86,141
(2) 利益剰余金	-3,905,398
負債・資本合計	1,652,559
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	207,026	362,746
資本勘定繰入	20,661	191,456
計	227,687	554,202

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	610.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		公立豊岡病院組合			
病院名		公立豊岡病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,100 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	473	83.4	83.4	81.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	51	28.6	33.4	37.3
感染症	4	-	40.5	44.3
計	528	77.5	78.2	76.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	14.6	13.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,341,140			
1 経常収益	18,333,445			
(1) 医業収益	15,399,464			
(うち修正医業収益)	15,131,401			
入院収益	10,291,884			
外来収益	4,557,732			
診療収入計	14,849,616			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	549,848			
(うち他会計負担金)	268,063			
(2) 医業外収益	2,933,981			
(うち国・都道府県補助金)	636,763			
(うち他会計補助・負担金)	1,103,170			
(うち長期前受金戻入)	854,164			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,695			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,602,140			
2 経常費用	18,600,134			
(1) 医業費用	17,665,978			
職員給与費	9,361,900	60.8	58.7	51.4
材料費	4,574,653	29.7	26.9	32.6
(うち薬品費)	2,256,305	14.7	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,227,173	14.5	11.7	13.9
減価償却費	1,021,313	6.6	8.5	7.4
経費	2,591,685	16.8	21.5	16.9
(うち委託料)	1,560,494	10.1	11.5	10.0
研究研修費	67,209			
資産減耗費	49,218			
(2) 医業外費用	934,156			
(うち支払利息)	157,971	1.0	0.9	0.8
(3) 特別損失	2,006			
経常損益	-266,689			
純損益	-261,000			
累積欠損金	883,069			
経常収支比率	98.6		96.5	97.6
医業収支比率	87.2		86.0	91.7
修正医業収支比率	85.7		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	7.5		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	91.2		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	30,251,585
1 固定資産	24,290,533
(1) 有形固定資産	22,677,222
(2) 無形固定資産	24,966
(3) 投資その他の資産	1,588,345
2 流動資産	5,961,052
(1) 現金及び預金	2,589,776
(2) 未収金及び未収収益	3,204,427
(3) 貸倒引当金()	1,267
(4) 貯蔵品	164,044
3 繰延資産	-
負債合計	32,954,543
1 固定負債	24,084,047
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,088,740
(2) その他の企業債	420,944
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	194,737
(5) 引当金	5,378,626
(6) リース債務	-
2 流動負債	7,008,479
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,230,022
(2) その他の企業債	39,860
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	767,398
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,837,618
(9) 前受金及び前受収益	3,191
3 繰延収益	1,862,017
(1) 長期前受金	3,537,423
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,675,406
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,702,958
1 本金	2,778,822
2 剰余金	-5,481,780
(1) 資本剰余金	1,443,105
(2) 利益剰余金	-6,924,885
負債・資本合計	30,251,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,702,958
資本不足額(繰延収益控除後)()	840,941
備考	

当貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,371,233	1,371,233
資本勘定繰入	1,179,839	1,179,839
計	2,551,072	2,551,072

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	公立豊岡病院組合		
病院名	公立豊岡病院日高医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	11,368 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	1.3	46.7	42.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	1.3	29.7	27.1
平均在院日数(一般病床のみ)		3.5	6.8	6.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,096,586			
1 経常収益	1,096,586			
(1) 医業収益	803,291			
(うち修正医業収益)	803,291			
入院収益	15,297			
外来収益	733,465			
診療収入計	748,762			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	54,529			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	293,295			
(うち国・都道府県補助金)	17,700			
(うち他会計補助・負担金)	152,048			
(うち長期前受金戻入)	51,436			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,163,806			
2 経常費用	1,163,656			
(1) 医業費用	1,117,941			
職員給与費	709,320	88.3	58.7	78.7
材料費	157,067	19.6	26.9	14.5
(うち薬品費)	62,815	7.8	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	94,103	11.7	11.7	6.1
減価償却費	55,241	6.9	8.5	11.8
経費	191,778	23.9	21.5	32.3
(うち委託料)	86,893	10.8	11.5	15.3
研究研修費	3,004			
資産減耗費	1,531			
(2) 医業外費用	45,715			
(うち支払利息)	8,894	1.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	150			
経常損益	-67,070			
純損益	-67,220			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.2		96.5	96.4
医業収支比率	71.9		86.0	72.4
修正医業収支比率	71.9		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.9		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	18.9		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	13.9		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	81.2		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	30,251,585
1 固定資産	24,290,533
(1) 有形固定資産	22,677,222
(2) 無形固定資産	24,966
(3) 投資その他の資産	1,588,345
2 流動資産	5,961,052
(1) 現金及び預金	2,589,776
(2) 未収金及び未収収益	3,204,427
(3) 貸倒引当金()	1,267
(4) 貯蔵品	164,044
3 繰延資産	-
負債合計	32,954,543
1 固定負債	24,084,047
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,088,740
(2) その他の企業債	420,944
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	194,737
(5) 引当金	5,378,626
(6) リース債務	-
2 流動負債	7,008,479
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,230,022
(2) その他の企業債	39,860
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	767,398
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,837,618
(9) 前受金及び前受収益	3,191
3 繰延収益	1,862,017
(1) 長期前受金	3,537,423
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,675,406
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,702,958
1 本金	2,778,822
2 剰余金	-5,481,780
(1) 資本剰余金	1,443,105
(2) 利益剰余金	-6,924,885
負債・資本合計	30,251,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,702,958
資本不足額(繰延収益控除後)()	840,941
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	152,048	152,048
資本勘定繰入	53,884	53,884
計	205,932	205,932

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	公立豊岡病院組合		
病院名	公立豊岡病院出石医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,834 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	55	53.7	55.2	56.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	53.7	55.2	56.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	15.8	17.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	719,037			
1 経常収益	719,037			
(1) 医業収益	522,959			
(うち修正医業収益)	494,392			
入院収益	320,767			
外来収益	145,993			
診療収入計	466,760			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	56,199			
(うち他会計負担金)	28,567			
(2) 医業外収益	196,078			
(うち国・都道府県補助金)	2,552			
(うち他会計補助・負担金)	155,524			
(うち長期前受金戻入)	33,109			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	795,581			
2 経常費用	795,581			
(1) 医業費用	774,195			
職員給与費	566,144	108.3	58.7	78.7
材料費	64,068	12.3	26.9	14.5
(うち薬品費)	20,489	3.9	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,455	6.2	11.7	6.1
減価償却費	49,341	9.4	8.5	11.8
経費	92,381	17.7	21.5	32.3
(うち委託料)	41,689	8.0	11.5	15.3
研究研修費	1,626			
資産減耗費	635			
(2) 医業外費用	21,386			
(うち支払利息)	8,837	1.7	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-76,544			
純損益	-76,544			
累積欠損金	-			
経常収支比率	90.4		96.5	96.4
医業収支比率	67.5		86.0	72.4
修正医業収支比率	63.9		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.6		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	35.2		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	25.6		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	67.2		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	30,251,585
1 固定資産	24,290,533
(1) 有形固定資産	22,677,222
(2) 無形固定資産	24,966
(3) 投資その他の資産	1,588,345
2 流動資産	5,961,052
(1) 現金及び預金	2,589,776
(2) 未収金及び未収収益	3,204,427
(3) 貸倒引当金()	1,267
(4) 貯蔵品	164,044
3 繰延資産	-
負債合計	32,954,543
1 固定負債	24,084,047
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,088,740
(2) その他の企業債	420,944
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	194,737
(5) 引当金	5,378,626
(6) リース債務	-
2 流動負債	7,008,479
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,230,022
(2) その他の企業債	39,860
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	767,398
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,837,618
(9) 前受金及び前受収益	3,191
3 繰延収益	1,862,017
(1) 長期前受金	3,537,423
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,675,406
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,702,958
1 本金	2,778,822
2 剰余金	-5,481,780
(1) 資本剰余金	1,443,105
(2) 利益剰余金	-6,924,885
負債・資本合計	30,251,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,702,958
資本不足額(繰延収益控除後)()	840,941
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	184,091	184,091
資本勘定繰入	64,622	64,622
計	248,713	248,713

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		公立豊岡病院組合			
病院名		公立朝来医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,699 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	104	56.3	50.2	56.6
療養	45	66.8	52.2	59.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	149	59.4	50.8	57.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	19.1	16.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,910,312			
1 経常収益	1,910,212			
(1) 医業収益	1,584,060			
(うち修正医業収益)	1,474,848			
入院収益	1,117,617			
外来収益	318,397			
診療収入計	1,436,014			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	148,046			
(うち他会計負担金)	109,212			
(2) 医業外収益	326,152			
(うち国・都道府県補助金)	71,606			
(うち他会計補助・負担金)	110,627			
(うち長期前受金戻入)	137,096			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	100			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,086,008			
2 経常費用	2,085,908			
(1) 医業費用	1,993,545			
職員給与費	1,161,125	73.3	58.7	67.7
材料費	215,666	13.6	26.9	18.3
(うち薬品費)	64,573	4.1	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	122,703	7.7	11.7	9.1
減価償却費	211,538	13.4	8.5	10.3
経費	400,730	25.3	21.5	29.4
(うち委託料)	266,235	16.8	11.5	13.6
研究研修費	3,545			
資産減耗費	941			
(2) 医業外費用	92,363			
(うち支払利息)	34,363	2.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	100			
損益				
経常収支比率	91.6		96.5	95.4
医業収支比率	79.5		86.0	79.1
修正医業収支比率	74.0		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	11.5		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.9		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	11.5		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	81.0		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	30,251,585
1 固定資産	24,290,533
(1) 有形固定資産	22,677,222
(2) 無形固定資産	24,966
(3) 投資その他の資産	1,588,345
2 流動資産	5,961,052
(1) 現金及び預金	2,589,776
(2) 未収金及び未収収益	3,204,427
(3) 貸倒引当金()	1,267
(4) 貯蔵品	164,044
3 繰延資産	-
負債合計	32,954,543
1 固定負債	24,084,047
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,088,740
(2) その他の企業債	420,944
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	194,737
(5) 引当金	5,378,626
(6) リース債務	-
2 流動負債	7,008,479
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,230,022
(2) その他の企業債	39,860
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	767,398
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,837,618
(9) 前受金及び前受収益	3,191
3 繰延収益	1,862,017
(1) 長期前受金	3,537,423
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,675,406
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,702,958
1 本金	2,778,822
2 剰余金	-5,481,780
(1) 資本剰余金	1,443,105
(2) 利益剰余金	-6,924,885
負債・資本合計	30,251,585
不良債権	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,702,958
資本不足額(繰延収益控除後)()	840,941
備考	

当貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	219,839	219,839
資本勘定繰入	144,849	144,849
計	364,688	364,688

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名 兵庫県
市町村・組合名	公立八鹿病院組合			
病院名	公立八鹿病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓カ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院		
建物面積	35,498 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当	
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感へ災地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	300床以上~400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	338	66.1	68.6	65.5
療養	35	80.9	88.9	71.1
結核	7	8.0	11.2	4.5
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	66.4	69.4	64.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.6	18.9	17.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,984,671			
1 経常収益	7,984,022			
(1) 医業収益	5,862,174			
(うち修正医業収益)	5,752,839			
入院収益	3,987,546			
外来収益	1,510,107			
診療収入計	5,497,653			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	364,521			
(うち他会計負担金)	109,335			
(2) 医業外収益	2,121,848			
(うち国・都道府県補助金)	71,820			
(うち他会計補助・負担金)	401,362			
(うち長期前受金戻入)	644,201			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	649			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,717,543			
2 経常費用	8,714,572			
(1) 医業費用	7,337,052			
職員給与費	4,169,939	71.1	58.7	59.2
材料費	1,071,943	18.3	26.9	26.1
(うち薬品費)	526,083	9.0	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	469,340	8.0	11.7	11.1
減価償却費	837,563	14.3	8.5	8.5
経費	1,221,396	20.8	21.5	21.3
(うち委託料)	515,434	8.8	11.5	11.7
研究研修費	17,642			
資産減耗費	18,569			
(2) 医業外費用	1,377,520			
(うち支払利息)	76,395	1.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	2,971			
経常損益	-730,550			
純損益	-732,872			
累積欠損金	2,763,768			
経常収支比率	91.6		96.5	95.9
医業収支比率	79.9		86.0	86.4
修正医業収支比率	78.4		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	6.4		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	6.4		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	85.8		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	15,459,932
1 固定資産	12,808,738
(1) 有形固定資産	11,151,582
(2) 無形固定資産	3,984
(3) 投資その他の資産	1,653,172
2 流動資産	2,651,194
(1) 現金及び預金	1,442,030
(2) 未収金及び未収収益	1,097,169
(3) 貸倒引当金()	3,457
(4) 貯蔵品	90,685
3 繰延資産	-
負債合計	10,369,215
1 固定負債	7,412,065
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,258,772
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,144,420
(6) リース債務	8,873
2 流動負債	1,832,259
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	715,589
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	621,877
(6) リース債務	3,438
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	438,676
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,124,891
(1) 長期前受金	7,159,629
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,034,738
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,090,717
1 資本金	7,747,218
2 剰余金	-2,656,501
(1) 資本剰余金	1,846
(2) 利益剰余金	-2,658,347
負債・資本合計	15,459,932
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	504,721	510,697
資本勘定繰入	488,396	540,828
計	993,117	1,051,525

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	公立八鹿病院組合		
病院名	公立村岡病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,995 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	臨
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	42	44.3	45.9	52.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	44.3	45.9	52.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	9.0	6.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	582,526			
1 経常収益	582,526			
(1) 医業収益	418,886			
(うち修正医業収益)	418,886			
入院収益	217,038			
外来収益	189,843			
診療収入計	406,881			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	12,005			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	163,640			
(うち国・都道府県補助金)	1,716			
(うち他会計補助・負担金)	104,989			
(うち長期前受金戻入)	8,151			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	630,664			
2 経常費用	630,487			
(1) 医業費用	571,755			
職員給与費	349,852	83.5	58.7	89.5
材料費	107,696	25.7	26.9	13.4
(うち薬品費)	74,518	17.8	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,722	5.9	11.7	5.5
減価償却費	27,811	6.6	8.5	14.0
経費	85,348	20.4	21.5	46.3
(うち委託料)	48,169	11.5	11.5	22.2
研究研修費	514			
資産減耗費	534			
(2) 医業外費用	58,732			
(うち支払利息)	347	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	177			
経常損益	-47,961			
純損益	-48,138			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.4		96.5	97.3
医業収支比率	73.3		86.0	60.9
修正医業収支比率	73.3		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	25.1		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	18.0		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	75.7		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	15,459,932
1 固定資産	12,808,738
(1) 有形固定資産	11,151,582
(2) 無形固定資産	3,984
(3) 投資その他の資産	1,653,172
2 流動資産	2,651,194
(1) 現金及び預金	1,442,030
(2) 未収金及び未収収益	1,097,169
(3) 貸倒引当金()	3,457
(4) 貯蔵品	90,685
3 繰延資産	-
負債合計	10,369,215
1 固定負債	7,412,065
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,258,772
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,144,420
(6) リース債務	8,873
2 流動負債	1,832,259
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	715,589
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	621,877
(6) リース債務	3,438
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	438,676
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,124,891
(1) 長期前受金	7,159,629
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,034,738
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,090,717
1 資本金	7,747,218
2 剰余金	-2,656,501
(1) 資本剰余金	1,846
(2) 利益剰余金	-2,658,347
負債・資本合計	15,459,932
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	104,989	104,989
資本勘定繰入	5,592	5,592
計	110,581	110,581

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	北播磨総合医療センター企業団		
病院名	北播磨総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	38,109 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	450	66.1	75.6	77.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	66.1	75.6	77.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	10.8	11.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,589,406			
1 経常収益	18,583,237			
(1) 医業収益	16,706,777			
(うち修正医業収益)	16,374,283			
入院収益	10,827,121			
外来収益	5,227,509			
診療収入計	16,054,630			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	652,147			
(うち他会計負担金)	332,494			
(2) 医業外収益	1,876,460			
(うち国・都道府県補助金)	213,924			
(うち他会計補助・負担金)	1,252,502			
(うち長期前受金戻入)	197,026			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,169			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,157,590			
2 経常費用	19,049,816			
(1) 医業費用	17,965,348			
職員給与費	8,351,856	50.0	58.7	55.7
材料費	5,793,289	34.7	26.9	28.9
(うち薬品費)	2,419,512	14.5	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,298,262	19.7	11.7	12.7
減価償却費	1,271,648	7.6	8.5	7.9
経費	2,493,967	14.9	21.5	18.1
(うち委託料)	1,699,821	10.2	11.5	10.0
研究研修費	42,756			
資産減耗費	11,832			
(2) 医業外費用	1,084,468			
(うち支払利息)	106,871	0.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	107,774			
損益	-466,579			
純損益	-568,184			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.6		96.5	97.5
医業収支比率	93.0		86.0	90.0
修正医業収支比率	91.1		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	8.5		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	89.2		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	19,904,419
1 固定資産	15,123,614
(1) 有形固定資産	11,192,538
(2) 無形固定資産	747,673
(3) 投資その他の資産	3,183,403
2 流動資産	4,780,805
(1) 現金及び預金	1,914,835
(2) 未収金及び未収収益	2,759,669
(3) 貸倒引当金()	8,041
(4) 貯蔵品	108,815
3 繰延資産	-
負債合計	18,239,747
1 固定負債	11,789,076
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,254,697
(2) その他の企業債	91,666
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,352,403
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,103,192
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,002,438
(2) その他の企業債	8,334
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	510,399
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,512,927
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,347,479
(1) 長期前受金	7,447,215
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,099,736
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,664,672
1 資本金	428,387
2 剰余金	1,236,285
(1) 資本剰余金	519,990
(2) 利益剰余金	716,295
負債・資本合計	19,904,419
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,721,014	1,584,996
資本勘定繰入	463,631	15,004
計	2,184,645	1,600,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。